



つなぐ「奉仕の心」これからも

2024年向陽高等学校創立100周年



学校法人向陽学園

歴史編集室発行

TEL0957(52)3210

あなたの「なりたい！」をかなえる7つの学科



看護科特集!



准看試験100%合格 実習が力に!

本校衛生看護科の設置は昭和42年。発足当時の目標は、高等学校の一般教養課程を履修しながら看護に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、准看護婦資格を取得させ不足する看護婦対策の一助とするところにあった。本校はその理念を充分にはたして、卒業生は大学病院・学校をはじめ全国各地で活躍している。病院附属の看護学校と違い、高校衛生看護科の場合はとりわけ実習面での苦勞が多く、学校によっては数カ所の病院に生徒を分散して実習している所もある。その点、本校の場合は設備の整った大村市立病院で系統だった実習がなされ、県下の衛生看護科の中では例外的に恵まれていると言えよう。

(昭和59年8月向陽学園ニュース第1号より抜粋)

【看護科】「患者さんに笑顔と元気を届ける看護師になりたい」

看護科1年 野崎 惺翔

私は幼い頃から看護師になる夢があり、最短の5年間で看護師になれる向陽高校に入学しました。入学してまず最初に感じたのは、高校1年生から看護の専門教科を学べるため、嬉しくて夢に近づいていると実感し勉強に対して意欲も高まりました。座学だけでなく演習もあり技術を身に付ける事ができ、改めて入学して良かったと感じています。看護は覚えることが沢山有り大変だと思ってもありますが、今の学びが必ず将来の自分のためになると信じて、難しい勉強でも頑張ろうと思います。同じ夢を持った仲間と学べるというのも励みになります。解らないところを聞いたり、勉強の仕方を相談したりお互いに協力しながら高め合う事ができます。また、先輩方と交流し質問したりアドバイスを貰い理解を深める事もできます。他学年と学び合えるのも5年一貫教育ならではの良さだと思います。これからもクラス皆と支え合い、国家試験に向けて日々頑張りたいと思います。



病院実習に思う

衛生看護科3年Yさん

戴帽式でのあの静かな感激から初めて病院実習に出てハカ月になろうとしています。直接患者さんと接することのできる毎日、楽しく嬉しくもありますが、同時に看護婦という仕事の重大さをしみじみ感じさせられています。完全な看護は「知識」「技術」「精神」この三つの要素がうまく調和された状態だと教わりました。しかし、実際今の私には誠に恥ずかしいことですが、この三つの要素どころか一つだって満足なものはありません。精神的に自分の事で精一杯で、どれほど患者さんへ思いやりを持って接しているかわかりません。私達を信頼し任せて下さる患者さん達に、少しでも不安な気持ちを抱かせる事は決して許されないと。ちょっとした私達の心遣いが患者さんの病氣回復にも大きな影響があることを実感しました。このうえは一日も早く、看護の三要素がうまく調和できるよう精進・努力する覚悟です。尊い人の命を預かり、失敗を許されない責任の重大な看護の仕事に私は誇りをもちたいと思います。愛の灯を手にした日の感激をいつも胸にとめ、頼られるナースになりたいと思います。

(昭和46年向陽新聞第33号より抜粋)

長崎リハビリテーション学院

“挑戦と変化”で次代の人材を育てる

このプロジェクトは、新型コロナウイルスによる差別を無くそうという運動です。学生・職員が作っています。

※学院は「シラスリボンプロジェクト」に賛同しています。



7.12オープンキャンパス

【看護専攻科】たしかな学びで心豊かな看護の道を

看護専攻科1年 小関 鈴花

向陽高等学校看護専攻科に入学して約4カ月が経ちました。看護科は5年一貫教育であるため、私達は看護の学習を始めてから4年目に入ります。この歴史ある向陽学園で同じ目標に向かう仲間と共に切磋琢磨し、日々勉学に励むことができるとても嬉しく思っています。

看護専攻科では、高校看護科の時よりもさらに専門的な授業となり、学習する内容も多いため、毎日大変ですが先生方のサポートもあり、とても楽しく過ごすことができている。今は、世界中の新型コロナウイルス感染拡大により様々な部分に影響が出ているため、勉学のことや家族の健康のことなど不安でいっぱいですが、このような状況だからこそクラス全員が協力し合って日々の勉学に励み、学校全体で新型コロナウイルス感染拡大予防に努めることで、看護学生としての意識を一人一人がより高めることが出来ると思っています。各先生方も生徒の安全を第一に考え、全身全霊でサポートをして下さっており、毎日感謝の気持ちでいっぱいです。看護師国家試験まで残り約一年半、今の状況がこれから先どうなっていくのかわかりませんが、今、看護学生として私たちが何をすべきかよく考えて生活していきたいと思っています。

看護専攻科2年 琴岡 璃奈

私は、看護師になりたいという幼い頃からの夢を叶えるため、向陽高等学校に入学しました。

看護の教科書は初めて聞く専門用語が多く、毎日の勉強は必死でした。入学後、同じ夢を持った仲間達と励まし合い、切磋琢磨した高校3年間はあるという間で、その後2年間の専攻科での学習が始まりました。

専攻科では主に1年次に座学、2年次に各領域ごとに実習を行います。座学や実習では、知識・技術・態度に加え、学生生活の中で看護師としての人間性も養うことができます。また、実習では様々な年代の患者様との関わりから、座学では学ぶことが難しい「人の温かさ」を実感しています。しかし、時には壁にぶつかり悩む事もあります。そんな時には共に頑張っているクラスメイトや、先生方の手厚いサポートにより乗り越えることができている。看護師は、人を思いやり癒すことができる素敵な職業です。決して楽な道ではありませんが、クラスメイトと共に看護師になる夢を叶えたいと思っています。



写真は小児看護実習より



<シリーズ>2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向けて

新任ですよろしく!

瀬川 加寿子 先生（看護専攻科）

創立100周年を迎えるにあたり少しでも関われる事を嬉しく思います。今年度から看護専攻科に奉職するにあっては、「奉仕の心」を忘れない看護師の養成に微力ながら努力したいと思います。

溝越 美恵子 先生（看護専攻科、平成元年衛生看護科第20回卒）

2024年創立100周年を迎えると知り、感慨深い思いです。30数年前に看護の道を目指し看護科で学んでいた時期を思い出します。今は、その頃の建物や施設とは変わっていて驚きと懐かしさで胸が一杯になりました。この度看護専攻科入職にあたり、社会に貢献できる看護師の育成に尽力したいと思います。

貞包 崇志 先生（看護専攻科）

この度は、向陽学園が創立100周年を迎えられる事に心よりお祝い申し上げます。私は、本校専攻科に入職して教員として働ける事をとても嬉しく思います。今まで看護師として働いてきて、本校を卒業した看護師の方で尊敬する先輩方を多く知っています。そのような看護師を輩出している学校で、教員として働けると思うと身の引き締まる思いです。本校の「奉仕の精神」に則り、看護の現場で生き抜けるような看護師の育成に微力ながら尽力したいと思います。

江島 綾美 先生（看護専攻科、平成22年看護専攻科第30回卒）

私が向陽高校専攻科に在籍していた2年間は、支えてくださる先生方やかけがえのない仲間と出会い、とても充実した日々でした。生徒のみなさんにも楽しい学校生活を送っていただけるよう、その一助となれるよう日々精進してまいります。